

# 各委員会での主な議案審査状況

## 総務委員会

### 議案第60号 財産の取得について

#### 支援車を更新し最新鋭の車両を配備

**(概要)** 平成19年3月に中央消防署に配備された車両および装備している資機材などの性能が低下しているため、同型で最新鋭の支援車Ⅳ型（指揮車）を取得しようとするもの。

**質疑** 主要装備にドローンとあるが、その運用はどのように行うのか。

**答弁** 現在運用しているドローンは、令和2年2月に鈴鹿市消防本部無人航空機運用要綱を制定し、運用を開始した。今回取得する支援車Ⅳ型（指揮車）に装備するドローンは、2台目として新たに導入するもので、これまでと同様に指揮隊が運用し、災害時における被害状況の把握や火災原因調査における実況見分などに活用する。また、新しい機能としてサーマルカメラを搭載しているため、建物火災や広範囲における林野などの火災において、火災の燃え広がり方を温度測定し映像化することができる。指揮隊が、消火活動における活動方針の決定や隊員の安全管理に効果が期待できるほか、山岳救助や水難救助においても上空からの要救助者の検索活動に有効であると考えている。



現在運用中の支援車

## 文教環境委員会

### 議案第57号～議案第59号 工事請負契約の締結について

#### 鈴鹿市立大木中学校の増改築工事を実施

**(概要)** 鈴鹿市立大木中学校の用地内に、鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）3階建ての校舎、鉄骨造平屋建てのクラブハウスおよび鉄骨造の連絡通路を建築しようとするもの。

**質疑** 新しい校舎の主な特徴はどのようなものか。また、それに係る費用はどのくらいか。

**答弁** 1点目の特徴は、学校が休校の時でも来客玄関、各会議室、トイレ、図書室の一部を地域の交流を深めるために開放できるよう、シャッターで区画ができるようにしている。2点目の特徴は、大木中学校が指定避難所や津波避難ビルに指定されているため、2階および3階の屋上に避難スペースや外部避難階段を設けるとともに、3階屋上に太陽光パネルを設置して防災機能の充実を図っている。この2点に係る費用は、契約金額ベースで約3,000万円である。



大木中学校校舎完成イメージパース